

市民フォーラム 2023

～土地の成り立ちから 地域を深く知り 災害に備えよう～

アンケート結果(参加者:101名 回収:90枚 回収率:90.1%)

① あなたの年代を教えてください。

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
2人	1人	2人	14人	22人	38人	8人

② あなたのお住まいは？

旧観音寺市内	大野原町	豊浜町	三豊市	その他
58人	12人	12人	2人	1人(三木町)

③ 市民フォーラムへの参加のきっかけは？(複数回数あり)

- ポスター・チラシ [26人]
- 市のホームページ [8人]
- SNS [6人]
- 自治会からの回覧 [32人]
- 知人・議員 [22人]
- その他 [6人] : ネットの情報 業務 防災アドバイザー 四国新聞 防災士

- ④ 第1部の講演では、“大地の成り立ちから 地域を深く知り 災害に備えよう”と題して香川大学長谷川名誉教授にご講演いただきました。感想についてお聞きします。

とても興味がある	興味がある	あまり興味がない	興味がない
47	36	0	1

《ご感想》

- ・もっとたくさんの人に聞いてもらえたらと思った。とても興味深く、先生のやわらかい話し方もよかったです。
- ・自分の住んでいる地域がどうゆう災害に対して弱いのかわかった。地震は3日ぐらい自助の備えが必要というが、実際は1週間ぐらいかかるということが印象に残った。
- ・観音寺の土地はどのようにしてできたかを知り、どう対応していくのかがわかった。
- ・気象1つとっても背景にはそうなる理由が少なからずとも存在し、災害についても、地域を深く知ることですれ少くとも災害を最小限にできることを考える良い機会になりました。
- ・大地の成り立ちから考えると、防災の必要性を大いに感じ自治会員とのコミュニケーションを日頃から行わないと避難の難しさを感じる。
- ・大規模災害ではすぐに支援は来ない。そのための備えが必要であることを学んだ。香川は温かく住みやすい県ではあるが、安心せずに確か知識をつけて家庭も、職場もしもの時に備えたい。
- ・この間の香川大学の先生のご指導で、高知、徳島が被害が大きい場合は、香川への援護は遅くなるので、自主的に備えることが大切とお聞きしました。讃岐ジオパーク構想が聞けて良かった。
- ・地域の成り立ち、どうしてこの地形になったのか？興味深く聞けました。
- ・長谷川先生の講演は、いつも良いと持っています。特に今回は、郷土観音寺の内容だったので、身を乗り出して聞きました。専門のジオの話をもりこみながらだったので、特に良かったと思いました。
- ・大地の成り立ちが災害に大きくかかわってくるがよくわかった。特に川との関係が。
- ・とても分かりやすいお話をありがとうございます。早速地域の成り立ちを見直し、身近なところから取り組みます。
- ・内容が聞きやすく、よくわかりました。
- ・考えたことがなかったので、なるほどと思った。同時に標高 1、7mのところに住んでいるので、不安に思いました。
- ・標高 3m以下の土地は水害の可能性が高いのは、具体的な数値があつてわかりやすかった。
- ・住んでいる地域のことを深く知ることが、災害に備える事の第一歩であることを学びました。
- ・資料が欲しい。
- ・地元、地域を知る重要性について再確認できた。
- ・観音寺市に特化した防災情報が聞けたことはありがとう。

- ・プレートの隆起により観音寺市が出来ている。讃岐山脈の動きにより柞田川が馬立川につながっていた見解に賛同。
- ・大地の成り立ちが防災に深くかわり、地元の農産物につながったり、土地の遺跡や家の作りにつながるのが、とても興味深く若い世代の方にも、防災に関心を持ってもらうきっかけになったらいいと思いました。
- ・観音寺市の土地の成り立ちがよくわかりました。
- ・南海トラフのことを考えると地質のお話を聞いて、とてもショックではあるものの、今後の防災・減災のために、ますます考えていけないという身に迫る思いです。もっと、地域のことを深く知らねばならないと改めて感じました。
- ・どのような対策を取るべきかも知りたかった(港町に住んでいるため避難場所がない 小学校はダメ)。
- ・防災マップを再度見直そうと思いました。
- ・どう取り組めばいいのか、全くわからなかった。地形どうなっているのか、何で測量したのですか？
- ・大地の成り立ちを考えるなら、もう少し古い時代からの話があれば。
- ・もう少し詳しく説明してほしいところが部分的にあった。時間の制約があったために、残念。
- ・南海トラフに関する事ですら、まず四国の成り立ちから簡単に説明してほしい。
- ・高尾山が讃岐山脈と直交しているのか？気になって仕方がない。
- ・地質・地層？
- ・台風で雨風が多かった。
- ・そこに住む者として被害の想定あるのは心情としてはつらいものがあるが、そのうえでの自助としての行動が大切である。災害の上で出来た土地の特性を誇りに思わなければならない。
- ・もっともっと大地の成り立ちから災害をうまく少なくなるようになるすべを聞いたかった。本来の災害に備えようとするヒントが見えなかった。地域の深さが伝わってこなかった
- ・今年に関東大震災から100年目 1923年9月1日11時58分に死者不明者10万5千人と言われていて、明治以降最大の地震と言われています。今後上記のような地震は必ず来ると思いますので、日頃から備えを行いたいと思います。
- ・大変勉強になりました
- ・この土地の成り立ちから災害、減災を考えたいと思った。
- ・災害が起こり、そこから地面が変化したところを聞きびっくりしました。
- ・災害の弱みを強みに変えていく。

⑤ 第2部では、市内の防災・減災活動に取り組む代表の方とのパネルディスカッションを行いました。感想についてお聞きします。

とても興味がある	興味がある	あまり興味がない	興味がない
28	32	3	0

《ご感想》

- ・よかったです。防災について奥が深いなあと思いました。
- ・子どもたちへのアプローチから防災意識を広げる(高める)という話が面白かったし、効果があると感じました。
- ・自主防災組織は、各自治会でバラバラ。
- ・市民の危機管理意識が低く自ら動く人がすくない(強制的に出前講座を受けさせる)。
- ・各地区の取り組みをお聞きして興味がわきました。
- ・今後の行政の取り組みへの参考となる貴重なご意見ばかりでした。背景も一緒に考えながら、考える良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・災害を想定したまちづくりが大切であるということ。本当にそうだなと思いました。
- ・防災アドバイザーさんが園に来てご指導いただいたことを今後生かして、更に安全意識を高めていきたいと思います。
- ・避難所の在り方を教えると実際起きた時の緊迫感が感じられました。防災についてもっと学びたいです。
- ・次回の園の訓練では、①園庭に避難後⇒駐車場に避難します。②先生が1人負傷者になって救助する様子を子どもにも見せます。③防災を知る機会や様子を園長だよりで啓発していきたいです。
- ・有名な先生のお話を聞くことができ大変有難かったです。楽しく学びました。子どもたちと町歩き参加したいです。パネルディスカッションでは、多方面のお話が聞けてとても学びになりました。
- ・パネラーの皆さんがよかった。若い国土さんのDXに興味があります。
- ・観音寺旧町内の意識が低いのが残念。
- ・防災活動は楽しい。楽しみながら自分の命は自分で守る。
- ・いろいろな分野の考え方が興味深いです。災害のまちづくりの考え方はいいですね。
- ・各地域で具体的に組み込まれているお話が聞けてとても参考になりました。
- ・東日本には関心、お金が行っているが、次に来る間違いない四国に投資されていないということ。
- ・パネラーの皆さんが頑張っていることを知りませんでした。
- ・有意義な意見や発想が良い。
- ・災害マネジメント導入　デジタルDX　避難所不足⇒分数避難
- ・自分が災害にあった時、どんな事をして何ができるのか、ふと思いました。
- ・高齢者が参画するより、若い力、小学生また、その親御さんに関心を持ってもらうことが大切。
- ・よかった。
- ・防災とまちづくりが一つになればいい。子どもを防災に巻き込み、その保護者の若い世代を巻き込む。など、いろいろな個人や団体をつなげてみんなでいい観音寺、防災に強い観音寺になればうれしいです。
- ・地域によって防災意識の格差がある。

- ・防災・減災について、今後活動していかなければならない点等 とても勉強になりました。
- ・子どもから親へと危機感を訴えることが必要。
- ・どうして男が多いのだろう。
- ・自分の住んでいる所は、高齢者が多く災害があった時には、手遅れになりがちです。定期的な訓練が人用だと思います。
- ・災害後のまちづくりを考えなくては？ 災害の種類大小によって変わるのか？
- ・快適に生活できるテント、野外キャンプ用に楽しむ防災で参加者を増やす。
- ・パネラーのさまざまな活動意見を聞いて良かった。
- ・個人的には参考になるパネルディスカッションだったと思う。
- ・皆さんがつながってくることは大変良いことだと思います。各地域がつながっていければと思います。
- ・パネラーの人たちの活動を知ることができてよかった。
- ・防災とまちづくりについて、自分の住んでいるところを知ることから、防災意識を高める。避難訓練について参加しようと思った。
- ・まちづくりも防災にも若い人を巻き込んでいくのが大切だと感じます。
- ・それぞれの方が自己紹介として話している時間が長い。縦割りの話になっているので、もっとディスカッションの内容を深めてほしい。
- ・市内での災害に備えている代表の意見が聞け、方向性が示されていると思います。

⑥ 受付前に設置した防災グッズコーナーについて、感想をお聞きます。

とても興味がある	興味がある	あまり興味がない	興味がない
16	28	6	0

《ご感想》

- ・よかったです。参考になりました。
- ・必ず必要であるトイレの展示が良かった。
- ・僕もやりたい。
- ・ペットボトル、段ボールの箱 2 個でいろいろな物が作れるんですね。
- ・防災グッズ 自作を上手に出来上がっていてびっくりしました。
- ・手作りでいろいろな工夫もして作ってあるのが、良いと思います。災害に備えて家にあるもので考えたり、作ってみたいです。
- ・ごめん。見てない。
- ・防災ズックに公的な補助金があればいいと思います。
- ・段ボール、牛乳パック、古紙、松ぼっくり、ペットボトルで食器を作る、ダンボールでトイレを作るのは、参考になりました。制作方法の手順の説明書を頂きたいです。
- ・コーナーがどこにあるのか、わからなかった。

⑦ 今後、取り上げたいテーマがあれば、ご記入ください。

- ・震度の体験がしたいです。(具体的に)自分の命を守るということ。
- ・移住について。
- ・地域おこし協力隊について。
- ・生成 AI(CHAT GPT)などを利用した行政サービスのデジタル化。
- ・大学生の力を借りるために、地域に来てほしい要望は強いと思う。
- ・まちづくり。観光。
- ・道の駅は後回しでよい。
- ・市民を災害からまもる。一時避難場所、避難生活場所の早期作成を希望する。
- ・第2回、第3回と活動に取り組んでいかなければならない点、方向性等、お話していただきたいと思います。
- ・人口減少をどうするか？10年、20年後。
- ・食料の自給を高める。」
- ・香川の石の産業と文化、技術の承継に関して「石積の文化」を利用拡大したい。
- ・高齢者の避難方法。
- ・少子化。
- ・地域コミュニティや防犯(安心して暮らせる)。
- ・観音寺市の発展について問題点、栄える町になるテーマをしてほしい。
- ・これからの自治会活動の有り方。共助で守るとしたらどうするのか？
- ・防災パート2があれば参加したいです。きっと市民の意識向上が防災につながると思います。
- ・次回は、若い先生やお母さんたちもお誘いしたいと思いました。
- ・子育てと防災がテーマにするのも興味があります。
- ・危険場所等や土地の成り立ちになるところの現地見学会。
- ・道の駅の活用法 ソフト、ハード面の整備が必要と思う。防災意識の向上につながるもの
- ・土石流の水が流れて河川も多かった。
- ・全体的に？な内容でした。誰の話聞きに来たのか、わからなくなった。
- ・自主防災の具体的な取り組み(自治会内での取り組みはどうするのか)。
- ・農業、林業、漁業、商業、工業、官、伝統工芸のつながりを深く定義して道を作り上げる
「人のつながりを絶やさず、若人に伝えるように」ひきつがれることを。
- ・もう1度防災を取り上げていただきたい。
- ・NEW 道の駅について 防災拠点としての計画について。
- ・災害時後、事前の対応、成功例をもっと知りたい。
- ・防災計画、防災組織についておしえてほしい。
- ・人口減少についてどう対策をたてるのか？
- ・一時避難、二次避難について。
- ・避難困難者への支援。
- ・若い世代、子どもなども交えた防災学習。